

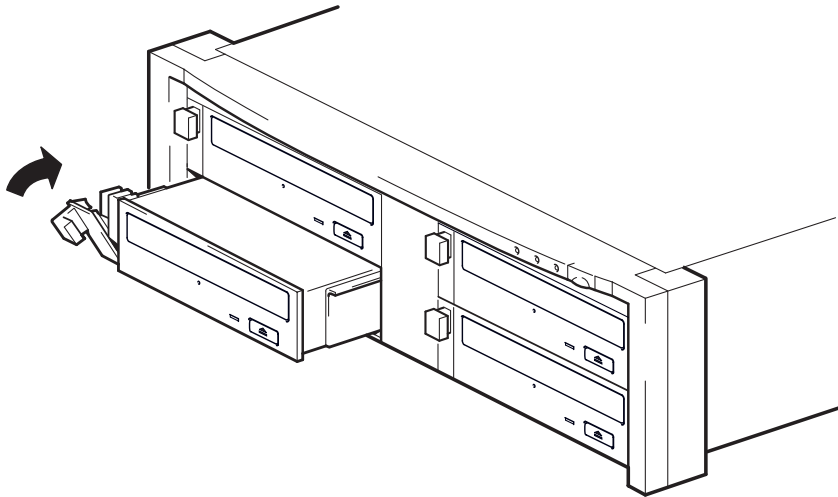
# hp StorageWorks DVD+RWドライブ

## 基本ガイド

## リムーバブル・モデル

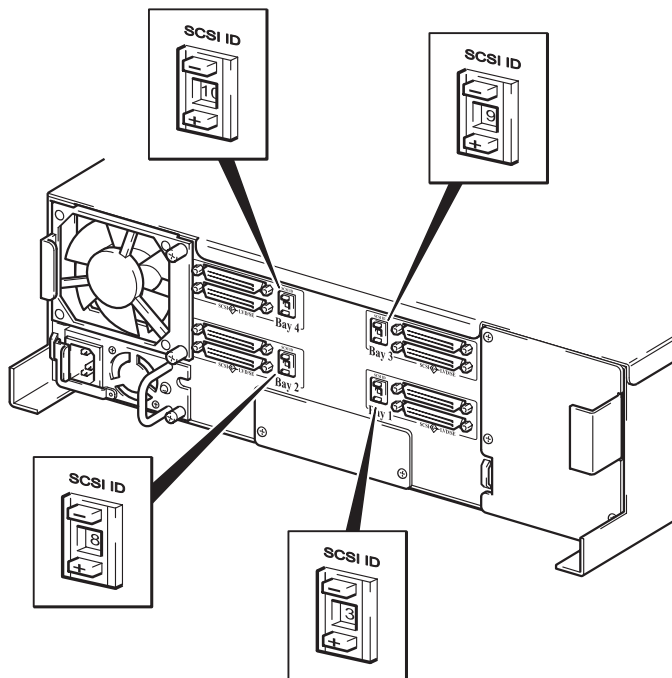


1



hp StorageWorks tape array 5300

2



hp StorageWorks tape array 5300

# HP StorageWorks DVD+RW アレイ モジュール - 概要

HP StorageWorks DVD+RW ドライブは、ラック・マウント式 HP StorageWorks Tape Array 5300 に取り付けられるように設計されています。テープ・アレイの取付け手順については、テープ・アレイに付属するマニュアルを参照してください。

はじめに	ページ 3
------	-------

ステップ 1: ドライブの取り付け	ページ 7
-------------------	-------

ドライブの取外しレバーがアウトポジションにあることを確認します。DVD+RW ドライブをテープ・アレイの空のベイにスライドさせます。DVD+RW ドライブを、ベイ背面のコネクタにはめ込みます。ドライブが所定の位置にロックされるまで、取外しレバーを押します。

ステップ 2: ドライブの SCSI ID の設定	ページ 9
---------------------------	-------

テープ・アレイにあるドライブ用の SCSI ID は、テープ・アレイの背面パネルで設定します。ドライブは、専用のホスト・バス・アダプタに接続することをお勧めします。SCSI バスがターミネートされていることを確認します。

HP StorageWorks DVD+RW ドライブ	ページ 11
-----------------------------	--------

ドライブの操作	ページ 13
---------	--------

ドライブの交換	ページ 15
---------	--------

トラブルシューティング	ページ 16
-------------	--------

2004 年 5 月

パーツ・ナンバー :Q1592-90904

ヒューレットパッカード社では、商品性および特定の用途への適合性についての黙示的保証を含め、本マニュアルに関するいかなる保証も行っておりません。ヒューレットパッカードは本マニュアルに含まれる誤りについて一切責任を負わないものとし、本マニュアルの提供、性能、使用に関連して生じた付随的損害、結果的損害についても一切責任を負わないものとします。

このマニュアルには著作権によって保護されている専有情報が含まれています。このマニュアルの一部またはすべてを、ヒューレットパッカード社の書面による許可なく写真複写、複製、または他言語に翻訳することは禁止されています。このマニュアルに記載されている情報は、予告なく変更されることがあります。

Linear Tape-Open、LTO、LTO のロゴ、Ultrium および Ultrium のロゴは、HP 社、IBM 社、および Seagate 社の米国における商標です。

Hi/fn, Inc. の所有する米国特許番号 5,003,307、5,016,009、5,463,390、5,506,580 の 1 つ以上で特許を取得済みです。

Microsoft®、MS-DOS®、MS Windows®、Windows®、Windows NT® は米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

UNIX® は The Open Group の登録商標です。

ヒューレットパッカード社は本マニュアルに含まれる技術的または編集上の誤りまたは漏れについて一切責任を負わないものとします。記載した情報は、このままの形で一切の保証なく提供されます。また、内容は予告なく変更されることがあります。ヒューレットパッカード社製品の保証については、各製品の明示的限定保証書に記載されています。ここに述べたいかなる内容も、保証を付加するものではありません。

Printed in the U.K.

## 製品について

必要な場合にすぐに確認できるように、ご使用の DVD+RW ドライブの詳細をここに書込んでください。

製品名（ドライブの種類）：	
製品番号：	
シリアル番号：	
購入日 / 取付日：	
SCSI ID:	

# はじめに

## HP StorageWorks DVD+RW ドライブ

HP StorageWorks DVD+RW ドライブは、HP StorageWorks Tape Array 5300 に取り付けられます。DVD+RW ドライブは、サーバ自体に CD ドライブや DVD ドライブがない場合に、データをバックアップしたり、CD や DVD ディスクからソフトウェアをインストールすることができます。HP StorageWorks DVD+RW ドライブは、他の HP StorageWorks ラック・レディ・デバイスと一緒に使用することもできます。たとえば、テープ・アレイは以下のものを収容します。

- (このガイドの図に示されているように) それぞれ異なるサーバに接続されている 4 台の DVD+RW ドライブ
- または、DVD+RW ドライブ、および DAT ドライブや Ultrium ドライブなどの HP StorageWorks テープ・ドライブを組み合わせたもの

デバイスをディジー・チェーンにする場合は、HP StorageWorks DVD+RW ドライブを他の LVD SCSI デバイスと同じ SCSI バスに接続してください。詳細は HP StorageWorks DVD+RW ドライブと SCSI の 4 ページを参照してください。

このガイドでは、次の HP StorageWorks DVD+RW モデルの取付け方法と操作方法について説明します。

- Q1592A

## 要件

新しい DVD+RW ドライブを取り付けて使用するには、次のものがが必要です。

- HP StorageWorks Tape Array 5300 および適切な SCSI ケーブル
- ホスト・サーバ側の SCSI ホスト・バス・アダプタ

HP StorageWorks DVD+RW ドライブをサポートするオペレーティング・システムの最新リストについては、WWW サイト ([www.hp.com/go/connect](http://www.hp.com/go/connect)) をご覧ください。

## HP テープ・アレイ

取外し可能ドライブを収容するように設計されているラック・マウント・システムの HP Tape Array 5300 は、正しく取り付けて設定する必要があります。HP Tape Array 5300 は、HP、IBM、およびその他の互換性のある 19 インチ・ラック・マウント・システムに取り付けることができます。

### エアフロー

テープ・アレイ付属のブランキング・パネルは、未使用のスロットに取り付けます。HP StorageWorks Tape Array 5300 は、最大 4 台のハーフハイトの HP StorageWorks ラック・レディ・ドライブ（または 2 台のフルハイトのテープ・ドライブ）に十分なエアフローを供給するように設計されています。テープ・アレイがすべて使用されていない場合は、未使用のベイにブランキング・プレートを取り付けます。テープ・アレイの前面と背面で、十分な換気を行う必要があります。

### SCSI ケーブルとターミネータ

HP StorageWorks DVD+RW ドライブを HP StorageWorks Tape Array 5300 に取り付けるために、SCSI ケーブルは必要ありません。ただしテープ・アレイを SCSI ホストに接続するには、ケーブルとターミネータが必要です。

テープ・アレイの背面パネルで SCSI ケーブルとターミネータを SCSI 接続に取り付ける方法の詳細については、HP StorageWorks Tape Array 5300 の『スタート・ガイド』を参照してください。本マニュアルの最新バージョンは、[//www.hp.com/support/tapearray](http://www.hp.com/support/tapearray) からダウンロードすることができます。

各自の構成に合った、正しい長さで正しい SCSI コネクタ・タイプのケーブル、およびターミネータを注文する必要があります。ケーブルとターミネータのオプションは、弊社 Web サイトのテープ・アレイのサポート・ページ ([//www.hp.com/support/tapearray](http://www.hp.com/support/tapearray)) にリストが記載されています。注文は、HP の最寄りの窓口までお寄せください。

## SCSI ホスト・バス・アダプタ

HP StorageWorks Tape Array 5300 には、最大 4 台のホスト・サーバを取り付けることができます。各サーバでは、コンピュータのマザーボード (SCSI-2、または SCSI-3 準拠) に SCSI ホスト・バス・アダプタ、または内蔵型の SCSI コントローラを正確に取り付けて設定しておく必要があります。接続性情報については、弊社 Web サイト ([//www.hp.com/go/connect](http://www.hp.com/go/connect)) を参照してください。内蔵型 SCSI チャンネルの仕様については、サーバのマニュアルを参照してください。RAID コントローラ・チャンネルには接続しないでください。ディスク・ドライブ専用です。

## HP StorageWorks DVD+RW ドライブと SCSI

すべての HP のラック・レディ・デバイスは、ブラインド・メイトの、着脱が容易なプラグのコネクタによってラック・エンクロージャに接続します。ラック・エンクロージャ背面のコネクタは、すべて 68 ピンです。ラック・エンクロージャ内のデバイスをホスト・システムに接続するには、ホスト・システムで使用している種類のバスに対応する 68 ピン・ツー・68 ピンの LVDS 対応ケーブルが必要です。ラック内でのデバイス・ツー・デバイス接続には、(68 ピン・ツー・68 ピンの) 0.5m ケーブルを使用します。

ドライブが SCSI デバイスのみ、またはディジー・チェーン・デバイスの終端 SCSI デバイスの場合は、ターミネータを取り付ける必要があります。

ケーブルとターミネータのオプションは、弊社 Web サイトのテープ・アレイのサポート・ページ ([//www.hp.com/support/tapearray](http://www.hp.com/support/tapearray)) にリストが記載されています。注文は HP の最寄りの窓口までお寄せください。

# 製品仕様

HP のラック・レディ DVD+RW には、次の機能と利点があります。

- HP StorageWorks Tape Array 5300 で使用可能な 5¼ インチ、ハーフハイトのアレイ・モジュール
- ラック環境における DVD、CD の読み込み / 書き込み機能
- データ・ストレージのバックアップ
- 高速なデータ転送（下のテーブルを参照）
- ラック環境におけるソフトウェアのロード
- オフライン・スワップ対応（バスが使用されていないときに、テープ・アレイの電源を切らずにドライブ交換が可能）

寸法	高さ 42mm (1.65 インチ) 幅 165mm (6.5 インチ) 奥行き 320mm (12.6 インチ)
製品重量	1.47kg
パッケージ込み重量	3.1kg
データ・インタフェース	Ultra 2 SCSI、LVDS
データ転送速度	CAV 8x (DVD+R)、CAV 4x (DVD+RW)、CAV 12x (DVD) CAV 32x (CD-R)、CAV 10x (CD-RW)、CAV 40x (CD)
電流と消費電力	
スリープモード (平均)	2W 以下
アイドル状態	7W 以下
公称 (読み込み / 書き込み)	14W 以下 (モードによって異なる)
平均ピーク (40x + フルストローク・アクセス)	20W 以下
電源 (入力電圧)	公称 DC 入力電圧 : +5V (+/- 5%)、+12V (+/- 10%)
機構	DVD+RW (オフライン・ホット・スワップ対応)
アクセス時間 / シーク時間	平均 140ms (DVD)、ランダム平均 120ms (CD)
サポートする規格	<b>DVD 形式 (最大容量 4.7GB) :</b> DVD-ROM (読み込み専用)、DVD+R、DVD+RW、DVD-R (読み込み専用)、DVD-RW (読み込み専用)、DVD-Video (読み込み専用) <b>CD 形式 (80min メディアで最大容量 700MB)</b> CD-R、CD-RW、CD-DA、CD Extra、CD-ROM (Mode 1 - Yellow Book)、CD-ROM XA & CD-I (Mode 2/Form 2 - Green Book)、Photo-CD (シングルおよびマルチ・セッション)、CD-Video、CD-Text
ロード機構	トレイ
ロード時間	5 秒未満 (ディスクがドライブ内でロードを開始し、クランプするまで)
アンロード時間	5 秒未満 (イジェクト・ボタンを押してから、ディスクのアンロードまで)
保証	3 年間

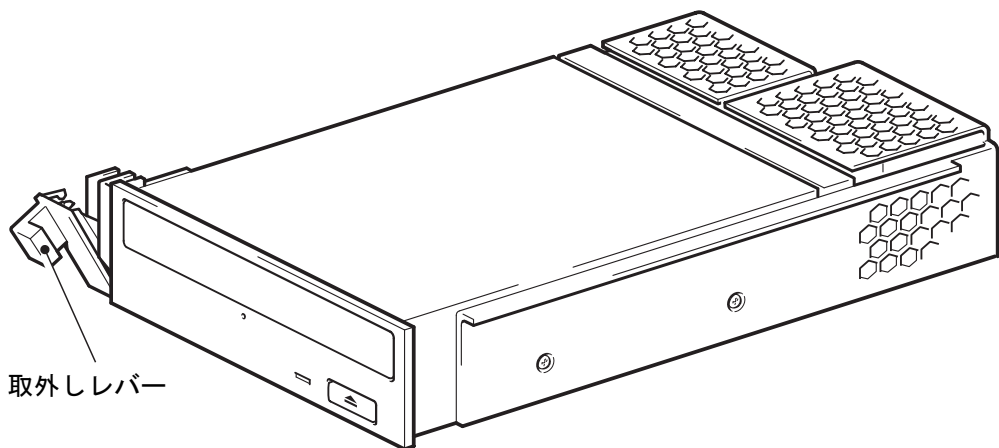


図 1a: アウト・ポジションにある取外しレバー

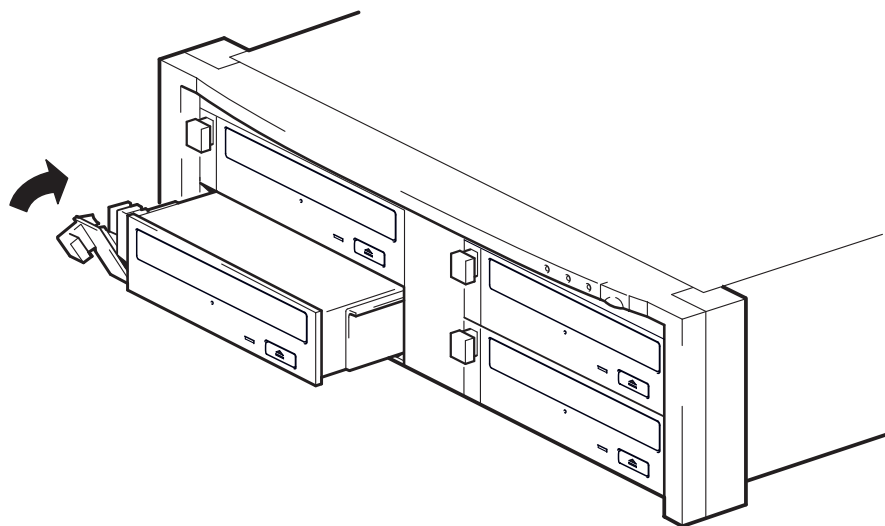


図 1b: ドライブの取り付け



# ステップ 1: ドライブの取り付け

HP StorageWorks DVD+RW ドライブは、ラック・マウント式に取り付けるように設計されています。

HP StorageWorks Tape Array 5300 は、他の HP StorageWorksDVD+RW ドライブやテープ・バックアップ・デバイスを収容することもできます。テープ・アレイの取付け手順については、テープ・アレイに付属するマニュアルを参照してください。

- 1 DVD+RW ドライブを取り付ける前に、取外しレバーが図 1a のように完全にオープン・ポジション（プル・アウト）にあることを確認します。

**注意** DVD+RW ドライブを操作するときは、ドライブのサイド・キャリア・フレームを握ります。ドライブの本体を持ったり、DVD+RW ドライブのフロント・パネルを押したり引いたりすると、破損する可能性がありますのでご注意ください。

- 2 図 1b のように、DVD+RW ドライブを空いているベイに挿入し、ドライブの両側にあるガイド・レールがパーティション・ウォールのスロットに収まっていることを確認します。リア・コネクタがしっかりと接続されるように、DVD+RW ドライブが十分に差し込まれていることを確認します。取外しレバーは少し閉じた位置に戻ります。

**注記** テープ・アレイにある SCSI ドライブの位置を調整して、ドライブとアレイのインタフェース部分をしっかりと接続します。

- 3 取外しレバーを押して DVD+RW ドライブを十分に差込み、正しくロックします。

**注意** すべてのドライブを使用しない場合、めくら蓋が取り付けられていることを確認することは大変重要です。めくら蓋を取り付けないと、DVD+RW ドライブのパフォーマンスが低下する場合があります。ハーフハイト・ドライブが 3 個以下しか取り付けられていない場合は、空いているベイにめくら蓋を差込みます。これにより、十分なエアフローが保証されます。

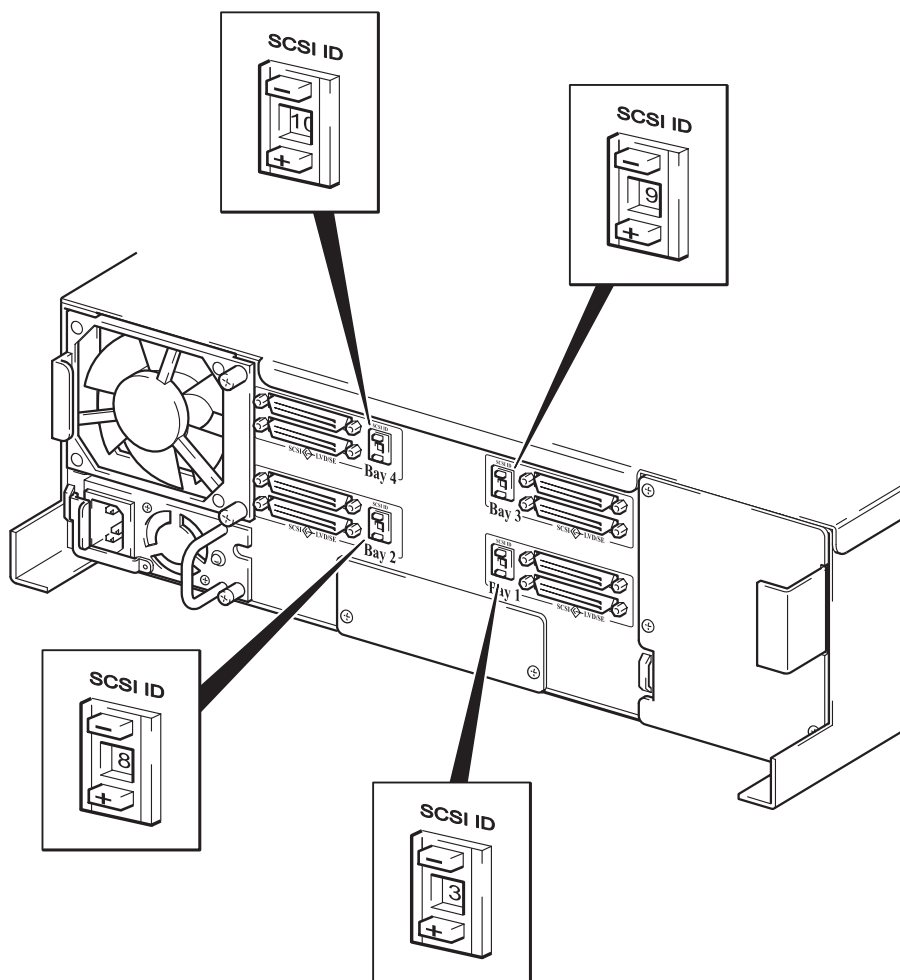


図 2:SCSI ID の設定

## ステップ 2: ドライブの SCSI ID の設定

**注記** テープ・アレイにあるドライブ用の SCSI ID は、テープ・アレイの背面パネルで設定します。HP StorageWorks DVD+RW ドライブには、1 ～ 15 の間で**使用されていない**任意の ID を割当てることができます。SCSI ID 番号 7 は、SCSI コントローラ用に予約されているので使用できません。また SCSI ID 番号 0 は、一般にブート・ディスクに割当てられるので使用できません。

1 使用する SCSI ID を決定します。

2 図 2 のように、スイッチを正しく設定します。デバイスをディジー・チェーンにする場合は、それらのデバイスが同じ種類の SCSI であり、同じ SCSI バス上の各デバイスが固有の SCSI ID を持っていることを確認します。同じ SCSI バスで 3 台以上のデバイスをディジー・チェーンしないでください。

**注記** HP StorageWorks Tape Array 5300 には 4 つの SCSI ID スイッチがあり、ハーフハイトのドライブを 4 台まで取り付けることができます。

3 適切な SCSI ターミネータがテープ・アレイ背面の空の SCSI コネクタに接続されていることを確認します。デバイスをディジー・チェーンする場合は、エンド・デバイスを必ずターミネイトしてください。

**注記** 今後参照する場合に備えて、ドライブのモデル名、製品番号、シリアル番号、SCSI ID をこのガイドの冒頭に書き込んでください。製品番号、およびシリアル番号は、ドライブ側面のラベルに記載されています。

### SCSI ケーブルとターミネータ

HP StorageWorks DVD+RW デバイスを HP StorageWorks Tape Array 5300 に取り付けるために、SCSI ケーブルは必要ありません。ただしテープ・アレイを SCSI ホストに接続するには、ケーブルとターミネータが必要です。

テープ・アレイの背面パネルに SCSI ケーブルとターミネータを SCSI 接続に取り付ける方法の詳細については、HP StorageWorks Tape Array 5300 の『スタート・ガイド』を参照してください。本マニュアルの最新バージョンは、[//www.hp.com/go/tapearray](http://www.hp.com/go/tapearray) からダウンロードすることができます。

各自の構成に合った、正しい長さと同じ SCSI コネクタ・タイプのケーブル、およびターミネータを注文する必要があります。ケーブルとターミネータのオプションは、弊社 Web サイトのテープ・アレイのサポート・ページ ([//www.hp.com/support/tapearray](http://www.hp.com/support/tapearray)) にリストが記載されています。注文は、HP の最寄りの窓口までお寄せください。

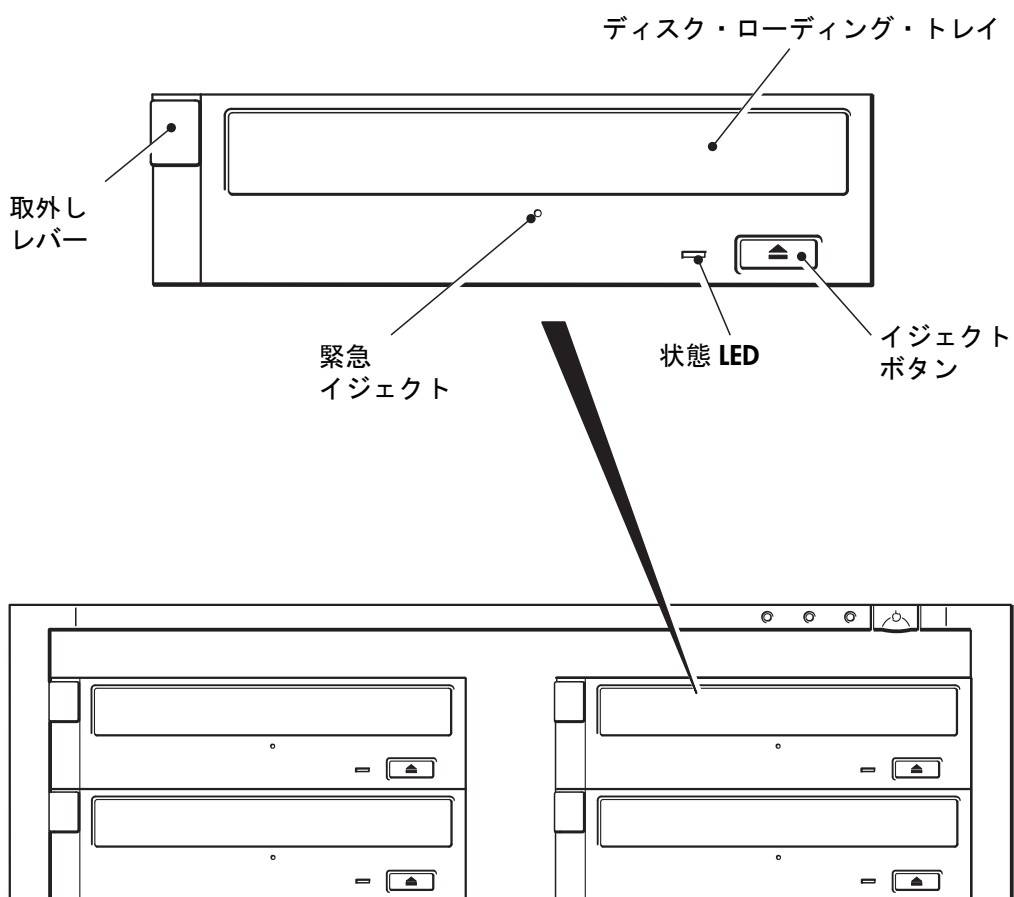


図 3: DVD+RW ドライブコントロールとインジケータ

# HP StorageWorks DVD+RW ドライブ

DVD+RW ドライブのフロント・パネルには、1つのLED、イジェクト・ボタン、緊急イジェクト・スロットがあります。ディスクのロードおよびアンロードの詳細についてはページ 13 を、また強制イジェクトの詳細についてはページ 17 を参照してください。

## フロント・パネルのLED

ダイアグラムに示すように、1つのLEDがあります（図 3 を参照）。

### 状態

LED の表示	意味
緑で点灯	ドライブの状態は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"><li>• ディスクをロード中です。</li><li>• 読み込みまたは認証活動を実行中です。</li><li>• ドライブ診断を実行中です。</li></ul>
緑で点滅	ドライブの状態は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"><li>• CD、DVD ディスクに書き込み中です。</li><li>• CD にテスト書き込み中です。</li></ul>
消灯	ディスクの状態は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"><li>• ディスクは挿入されていません。</li><li>• ディスクはロード済みで、使用可能です。</li><li>• ディスクは挿入されていますが、ドライブがパワー・セーブ・モードです。</li></ul>

## ボタン

### イジェクト・ボタン

ディスク・ローディング・スロットからディスクをアンロードするには、このボタンを押します。テープ・アレイの電源が切れていたり、ソフトウェア・アプリケーションでディスクのイジェクトを無効にしている場合、このボタンは機能しません。

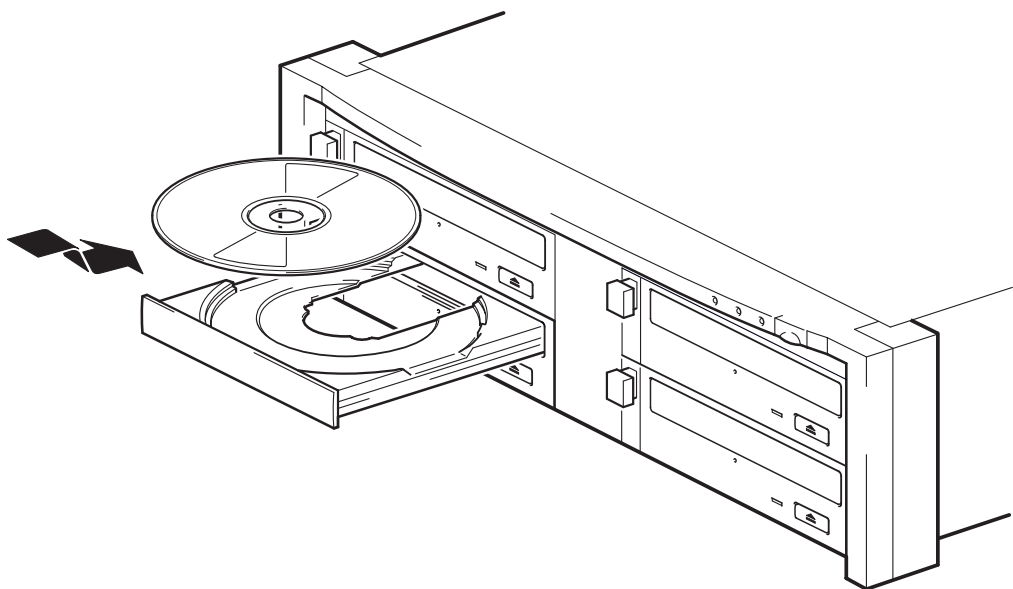


図 4a: ディスクのロード

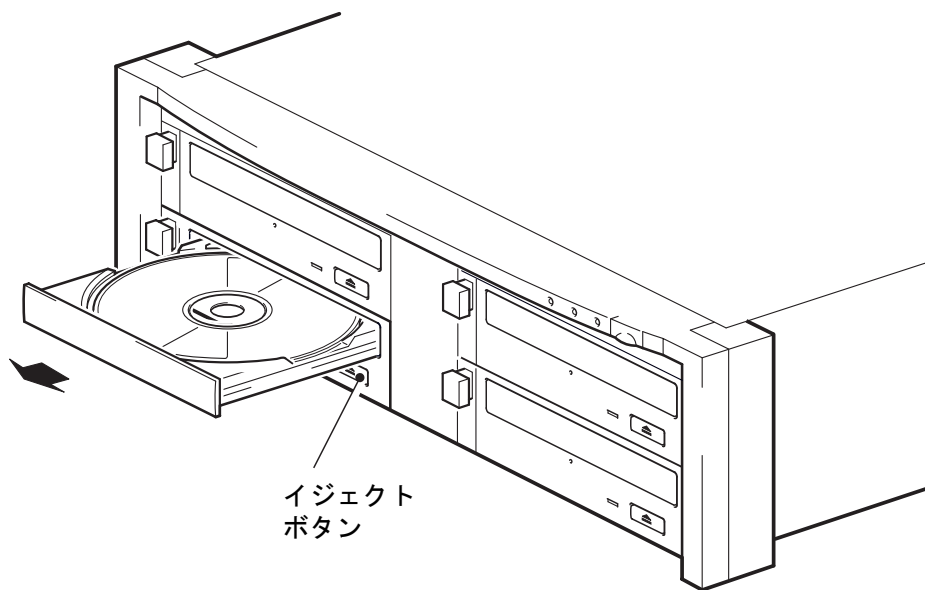


図 4b: ディスクのアンロード

# ドライブの操作

## CD、DVD のロード

- 1 図 4a のように印刷面を上にして CD や DVD をディスク・ローディング・トレイに挿入し、トレイをドライブにそっと押し戻します。
- 2 状態 LED は、CD や DVD を読込んでイニシャライズする間、点灯します。LED が消えると、CD や DVD を使用することができます。

## CD、DVD のアンロード

- 1 DVD+RW ドライブの動作が停止するまで待ちます。LED が消えると、CD や DVD をアンロードすることができます。
- 2 図 4b のようにイジェクト・ボタンを押します。ディスク・ローディング・トレイが出ます（数秒かかる場合があります）。
- 3 CD や DVD を、それらの箱、またはジャケットにしまいます。安全な場所に保管します。

**注記** アプリケーション・ソフトウェアの中には、プログラムを終了させるまで CD や DVD をアンロードできないものもあります。CD や DVD がイジェクトされない場合は、ソフトウェアを確認してください。

## CD、DVD ディスクの緊急イジェクト

イジェクト・ボタンを押しても CD や DVD ディスクがイジェクトされない場合は、ページ 17 で説明されている緊急イジェクト処理を実行します。UNIX オペレーティング・システムでは、ディスクをイジェクトする前に、CD/DVD ファイルシステムをアンマウントする必要があります。

## ディスクの取扱い方法

### ディスクの保存

- CD や DVD ディスクは、保護ケースやジャケットに保管すること。
- CD や DVD ディスクは、気温 10 °C ~ 60 °C (14° F ~ 140° F) の間で保管すること。
- 極端に温度が異なる環境に CD や DVD を移動した場合は、使用前にその温度になじむまで十分に待つこと。
- 汚れのついた CD や DVD は、清潔な、柔らかい布で拭くこと。内側の端から外側の端に向けて、円を描くのではなく直線的に拭くこと。
- 破損した CD や DVD は交換すること。

### 破損を防止するためには

- CD や DVD の表面を指で触れないこと。
- CD や DVD の表側または裏側の反射面を傷つけないこと。
- CD や DVD を落とさないこと。
- CD や DVD をほこり、水分、または湿気の多いところに置かないこと。
- CD や DVD のクリーニングに洗剤液を使用しないこと。

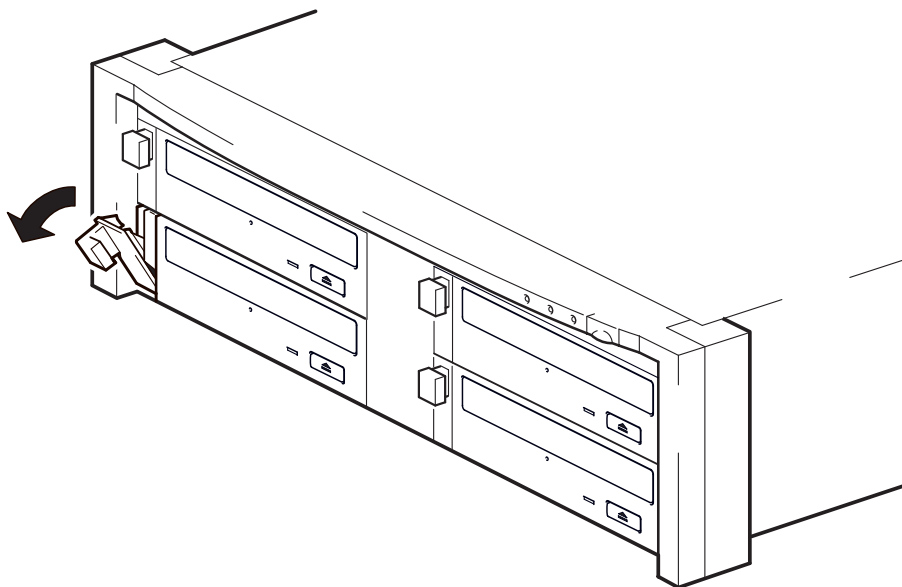


図 5a: 取外しレバーを手前に引く

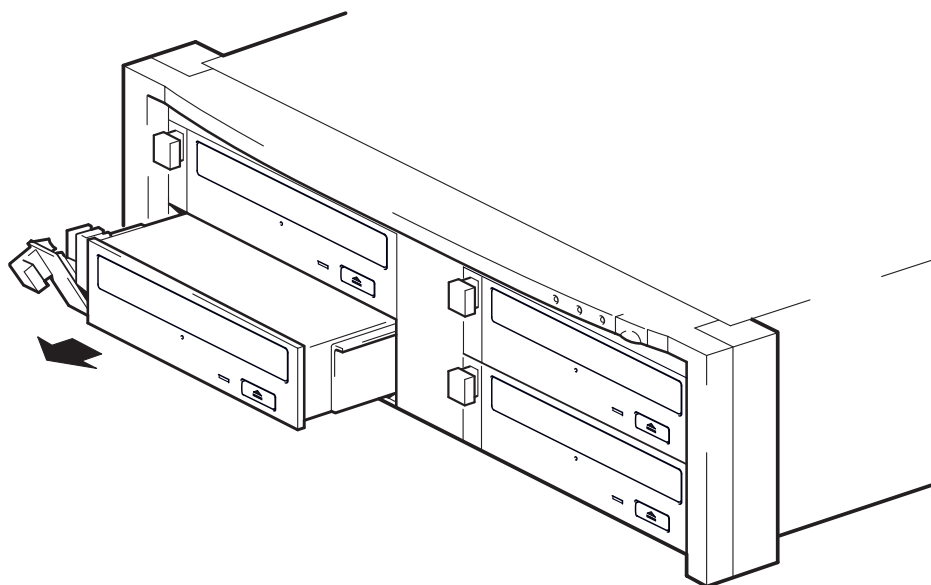


図 5b: ドライブを取外す



# ドライブの交換

HP StorageWorks DVD+RW ドライブは、テープ・アレイの電源を切らずに取り外して、交換することができます。ただし、次の点に留意してください。

- システムが作動しているときにテープ・アレイにあるすべてのドライブの電源を入れると、ホストはドライブを認識します。バスが使用されていないときに、これらのドライブを取り外して、別のドライブと交換することができます。
- すでにドライブがバスに接続されて機能しているときは、ドライブを取り外したり追加しないでください。たとえば、データのバックアップやリストアなどを実行している場合です。バスの動作が停止してから、ドライブを取り外したり追加します。
- ドライブの電源が入っていない場合、またはシステムの電源を入れた後で未使用のスロットにドライブを設置する場合は、ほとんどのシステムをリセットしてホストにドライブを認識させる必要があります。
- SCSI ID は、ドライブではなくテープ・アレイによって管理されるため、ドライブを取り外したり交換しても、ID は変化しません。

- 1 交換するドライブの取外しレバーを引くと、ドライブはアウト・ポジションになります（図 5a を参照）。
- 2 取外しレバーを使用するときは、ドライブをテープ・アレイから慎重にしっかりと引き抜いてください（図 5b を参照）。
- 3 別のドライブを差込む場合は、ステップ 1: ドライブの取り付けの 7 ページの手順に従ってください。

# トラブルシューティング

## DVD+RW ドライブが正常に作動しない場合

DVD+RW ドライブが正常に作動しない場合は、次の点を確認してください。

- HP StorageWorks Tape Array 5300 の電源スイッチがオンになっていること。
- HP StorageWorks Tape Array 5300 の電源 LED がオンになっていること。
- DVD や CD ディスクに汚れ、傷、磨耗、その他の損傷がないこと。
- テープ・アレイ背面の SCSI ケーブルが適切に接続されていること。
- SCSI ID がシステムに認識されていること (SCSI ID は固有)。
- SCSI バスが正しくターミネートされていること。
- ホストとドライブの SCSI インタフェースが同じ種類 (LVDS) であること。
- CD や DVD に問題が発生した場合、DVD+RW ドライブの状態 LED を確認すること。

## 状態 LED の意味

状態 LED	問題の原因	対処方法
点滅	CD、DVD ディスクの通常の書込み動作	なし
	CD ディスクのテスト書込み中	なし
	トレイがロックした後、読み込み / 書込み中にイジェクト・ボタンを押した。	なし。動作が終了するまで待ちます。
	ファームウェアの点滅	なし
点灯	CD、DVD の通常のロードや読み込み動作	なし
	ドライブ診断の実行中	なし
	ファームウェアが点滅しない。	HP のサービス・プロバイダに連絡してください。
消灯	通常の状態だが、ドライブ内の CD や DVD が作動しない。	なし
	通常の状態だが、CD や DVD がドライブに入っていない、またはドライブがパワー・セーブ・モード。	なし
	テープ・アレイの電源が入っていない。	テープ・アレイの電源を確認します。テープ・アレイに電源が入っている場合は、DVD+RW ドライブに欠陥がある可能性があります。HP のサービス・プロバイダに連絡してください。
	テープ・アレイに SCSI ケーブルが接続されていない、または誤った種類の SCSI ケーブルを接続している。	テープ・アレイ背面でターミネータと SCSI ケーブルを確認します。HP のサービス・プロバイダに連絡して、ドライブの SCSI ケーブルを確認します。
	予測不能なドライブの誤動作	HP のサービス・プロバイダに連絡してください。

上記の状態を確認しても問題が解決しない場合は、HP のサポート窓口にご連絡してください。

## 警告

修理はすべて、HP のサポート窓口に依頼してください。DVD+RW ドライブは、分解すると Class 1 のレーザー装置になります。可視赤色レーザー光や有害な非可視レーザー光を浴びると、失明の恐れがあります。

サービスは、訓練を受けたサポート要員が実施します。ドライブを分解しようとした場合、保証は無効となります。また、ドライブを損傷する可能性があります。

## CD、DVD ディスクの緊急イジェクト

イジェクト・ボタンを押しても CD や DVD ディスクがイジェクトされない場合は、次の手順に従って手動でイジェクトします。

**注意** 緊急イジェクト処理は、ドライブの電源を切ってから行ってください。ドライブの電源を切らずに緊急イジェクト処理を行うと、メディアやドライブを損傷する可能性があります。

UNIX オペレーティング・システムでは、ディスクをイジェクトする前に、CD/DVD ファイルシステムをアンマウントする必要があります。

- 1 ページ 15 に示されているように、ドライブを取外します。DVD+RW ドライブを取外すと、このドライブの電源が切れます。

または、テープ・アレイ内のいずれかのデバイスでテープ・アレイが作動していないことを確認してから、HP StorageWorks Tape Array 5300 の『スタート・ガイド』の説明に従って、テープ・アレイの電源を切ります。

- 2 ディスク・ローディング・トレイの下にある、小さい緊急イジェクト・ホールの位置を確認します。10 ページの図 3 を参照してください。

- 3 1/16 インチ (1.59 mm) の 6 角キー (アレン・レンチ) など適切な直径の、まっすぐな金属ピンを緊急イジェクト・ホールに差し込みます。

- 4 ディスクがイジェクトされるまで、しっかりと、一気にピンを緊急イジェクト・ホールに押しつけます (機械音がしたり、抵抗があっても異常ではありません)。

**注記** トレイが完全に開かない場合は、ディスクをリロードしてからステップ 1 ~ 5 を再実行するために、ステップ 5 を実行します。

- 5 ページ 7 に示されているように、ドライブを取外します。

上記のステップ 1 でテープ・アレイの電源を切った場合は、HP StorageWorks Tape Array 5300 の『スタート・ガイド』の説明に従って、電源を入れ直します。

# カスタマ・サポートへ連絡する前に

サポートが必要な場合、販売店には HP 製品とサービスに関する最新情報があります。また、HP の包括的な再販業者サービスメニューのもとでサポートを提供することもできます。販売店がサポートできない場合は、HP が直接サポートします。

サービスやサポートに連絡する前に次のことを実行してください。

- HP StorageWorksDVD+RW ドライブが正しく取付けられていることを確認する。
- 『スタート・ガイド』の指示とトラブルシューティングのアドバイスを確認する。
- スタンドアロンの診断ツールで、テープ・ドライブに関する情報収集と問題のトラブルシューティングに役立つ多数のユーティリティを提供する HP Library & Tape Tools を実行する。HP Library & Tape Tools は、製品のインストールやその製品の最高のパフォーマンスを維持するためのアドバイスも提供します。HP Library & Tape Tools は、[www.hp.com/support/tapetools](http://www.hp.com/support/tapetools) から入手できます。

HP カスタマ・サポートに連絡する場合は、HP サポート・スペシャリストと協力して問題を解決する準備をしておいてください。

## サービスを受けるには

全世界の HP のサービスおよびサポート・センタの一覧は、  
<http://www.hp.com/> を参照してください。

### 保証期間中

保証期間中は、無料の電話サポート・サービスを提供します。最寄りの HP 販売店、または地域の HP テクニカル・サポート窓口に連絡してください。待機している対応チームに電話がつながり、サポートを提供します。

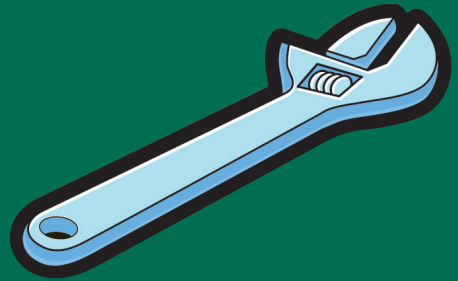
### 保証期間後

保証期間終了後にサポートが必要な場合は、同じ電話番号で有料のサポートを受けることができます。料金は、インシデント・ベースで請求されます。アドバイスを提供したり、サービスを手配する最寄りの HP 販売店に連絡することもできます。

The first part of the paper discusses the importance of understanding the cultural context of the research. It highlights the need for researchers to be sensitive to the values and beliefs of the communities they are studying. This is particularly important in the field of education, where cultural differences can significantly impact learning outcomes. The author argues that a one-size-fits-all approach to education is not only ineffective but also potentially harmful. Instead, educators should strive to create a culturally responsive learning environment that respects and builds upon the knowledge and experiences of all students.

The second part of the paper explores the challenges of conducting research in diverse cultural settings. It discusses the difficulties of finding a common ground between the researcher's perspective and the participants' worldview. The author notes that language barriers, differing communication styles, and varying levels of literacy can all pose significant obstacles. To overcome these challenges, the author suggests a collaborative approach where researchers work closely with community members to design and implement the study. This approach not only helps to build trust and rapport but also ensures that the research is relevant and meaningful to the community.

The third part of the paper focuses on the ethical considerations of cross-cultural research. It emphasizes the importance of obtaining informed consent from participants, which may require a different approach in some cultures. The author also discusses the potential for cultural appropriation and the need to ensure that the research benefits the community it is studying. Finally, the paper concludes by calling for a more inclusive and equitable approach to research that recognizes the value of all cultures and experiences.



<http://www.hp.com/support/tapearray>



**Q1592-90904**

Printed in the UK